

おこづかい管理と家計管理の共通点とは  
～ママ FP のひとりごと Vol.20～

ファイナンシャルプランナー 鈴木さや子

「おこづかい帳つけているの?」「貯金箱に入っているお金と収支が合わないじゃないの!」と日頃子どもを注意していませんか?何を隠そう、私もこれまで何度も注意しては子どもとやり合ってきました。今月は、おこづかい管理の方法を、日頃の家計管理と照らし合わせながら考えていきたいと思っています。

## 1. なぜおこづかい帳をつけるのでしょうか

おこづかいを始める際、「必ずおこづかい帳はつけさせなければ」と思っているママはとても多いもの。「つけられなくなったらもうあげないからね」と、おこづかい帳に書くことを条件にしている場合も少なくないのではないのでしょうか。しかしこれでは、おこづかい帳をつける目的が「おこづかいをもらうため」になってしまいます。

おこづかい帳をつける目的を考えてみましょう。

- ・ いつ、いくら、なぜお金が手に入ったか記録するため
- ・ いつ、いくら、何にお金を使ったか記録するため
- ・ 今、いくら残っているか把握するため

そして最終目的は「必要なものを買うために足りなくならないように管理すること」かと思います。

おや?家計簿と似ていませんか?多くのママたちが「どうしても続かない」と悩んでいる家計簿も、その続ける目的を忘れて、「家計簿をつけること」自体が目的になってしまっている方がとても多いのです。実はおこづかい管理と家計管理はとても似ています。家計管理においても、家計簿をつける目的は

- ・ お金の出入りを記録するため
- ・ いくら貯められているか把握するため

であり、最終目的は「豊かな人生を過ごすために必要なお金を貯めること」に尽きるのではないのでしょうか。この目的を達成できるよう、家計簿を活用できると理想的。逆に、目的が達成できるのであれば、家計簿などの記録媒体は不要と考えます。すなわち、おこづかい帳も、目的が達成できていれば、無理強いする必要はないのです。

## 2. おこづかいの管理方法は?

それでは次に、もらったおこづかいをどのように管理すると子どもにとってやり易いか、おすすめ方法を紹介します。

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2013 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

・ おこづかいの使い道を複数の項目に分ける

(例) 1:自分で買いたいものに使うお金

2:誰かのために使うお金 (プレゼントや寄付など)

3:将来欲しい大きな買い物のための貯金や、万が一トラブルなどが起きた際の予備資金

この複数の項目は、親子で話し合っ決めてるのが良いと思います。

・ 項目の数に合わせて入れ物を準備する

入れ物は外からでもお金が見える透明の瓶や箱がおすすめです。

・ おこづかいをもらったら、それぞれの入れ物に分けて入れる

子どもが外からぱっと見て、お金を使い切っていないか、残りはどのくらいあるか把握できると、管理がとてもし易いかと思います。

家計管理においても、目的別にお金を管理する方法はとても有効です。日常生活費、冠婚葬祭や家具家電の買い替えなどの特別費、そして貯金。それぞれにいくらくらい振り分けるか考えながら、家計を管理することで、自然と貯金できる体質に変わります。

### 3. おこづかい管理と家計管理の共通点

子どもが頑張るおこづかい管理と、ママが頑張る家計管理には、共通点があることがお分かりいただけたかと思います。以下まとめます。

	おこづかい管理	家計管理
記録をつける目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要なものを買うために足りなくならないように管理すること</li> <li>豊かな人生を過ごすために必要なお金を貯めること</li> </ul>	
管理方法と その例	使用目的別に分けて管理する	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で買いたいものに使うお金</li> <li>誰かのために使うお金 (プレゼントや寄付など)</li> <li>将来欲しい大きな買い物のための貯金や、万が一トラブルなどが起きた際の予備資金</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活費 (食費や消耗品など)</li> <li>冠婚葬祭や家具家電買い替えなどの特別費</li> <li>貯金や万が一のための予備資金</li> </ul>

ぜひおこづかい管理を教える際、家計管理の方法も一緒に見直すことをおすすめします。

\*\*\*\*\*

小学校の講演などでママたちに「おこづかい」についてお話するとともに、家計管理についても触れるようにしています。お金の管理はすべて「目的ありき」。私自身、目的を明確にしておこづかいをあげるようになってからは、子どもに対してとやかく注意しなくなりましたよ。

《今月のお気に入り曲》  
 プルチネルラ (管弦楽用組曲)  
 ノストラヴィンスキー作曲  
 バレエ曲の原曲を管弦楽用に  
 自身が編曲したもの。ヴァイオリンを  
 始めとして各楽器がソロを披露する  
 協奏曲的要素もある楽しい曲です。

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—